



平成29年度 市政懇談会



～将来を見通したまちづくり～



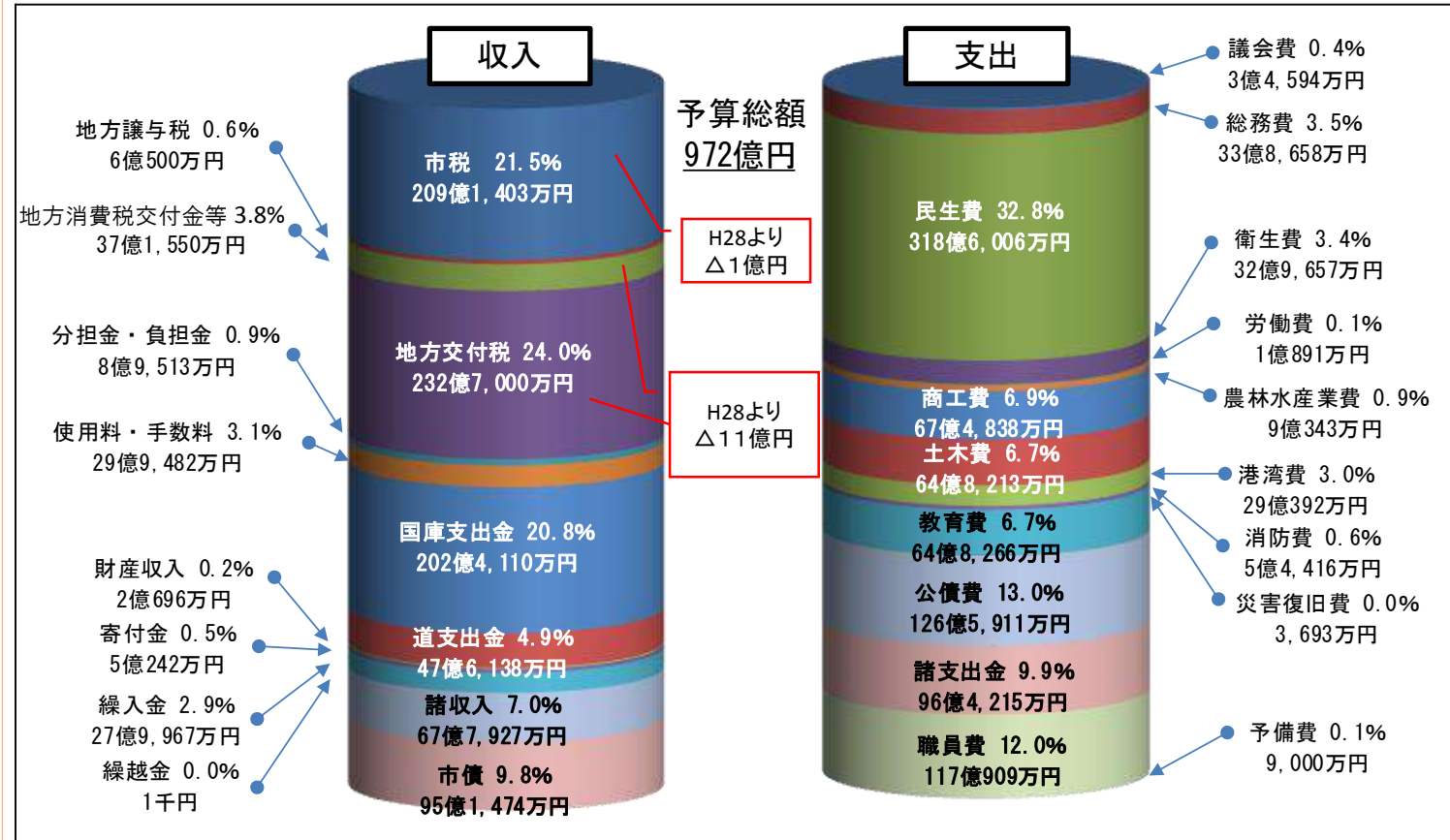
北海道鉚路市

平成29年度の予算案（会計区分別）

（単位：億円、％）

会計区分	当初予算額		比較	
	平成29年度	平成28年度	増減額	伸び率
一般会計	972	972	0	0.0%
特別会計	408	408	0	0.1%
企業会計	408	394	14	3.6%
合計	1,788	1,774	14	0.8%

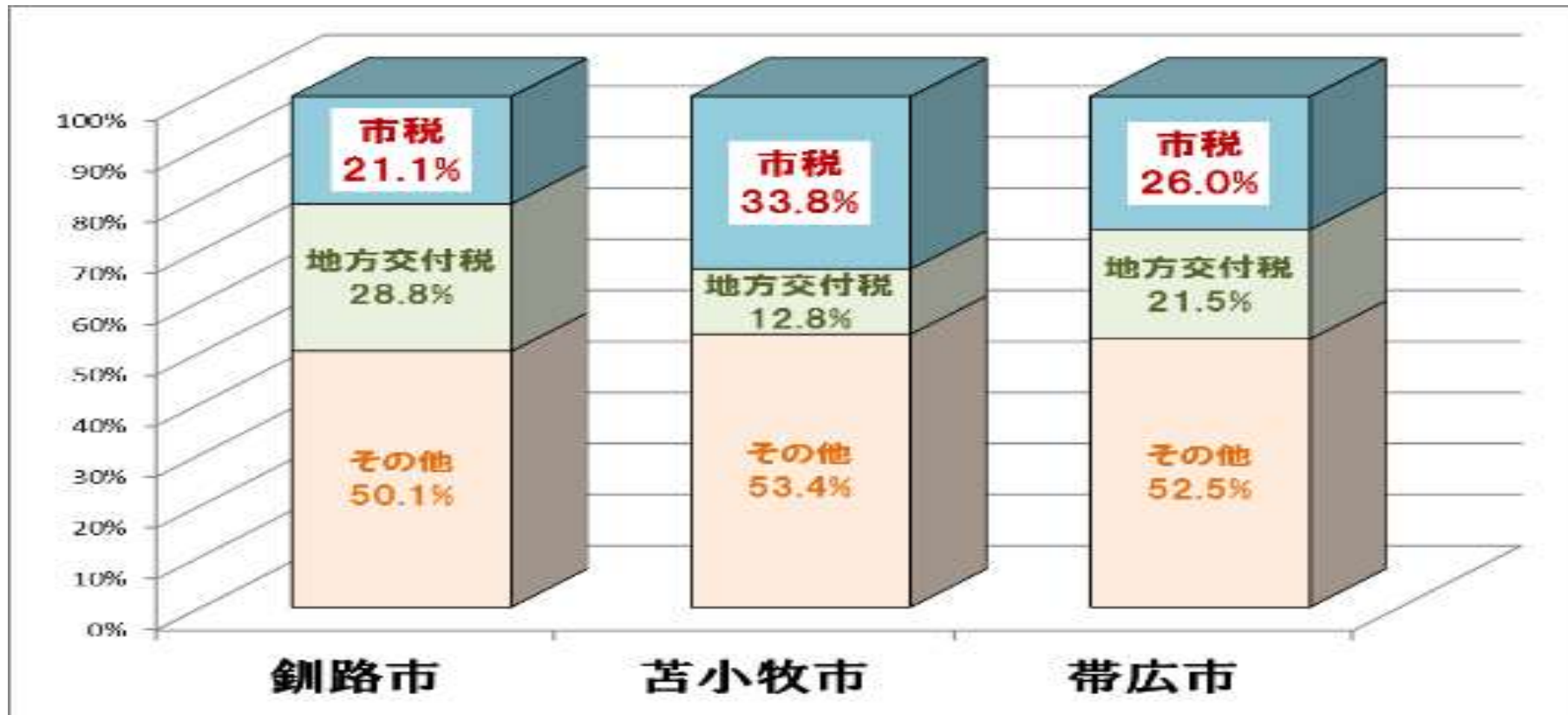
平成29年度一般会計予算案の構成

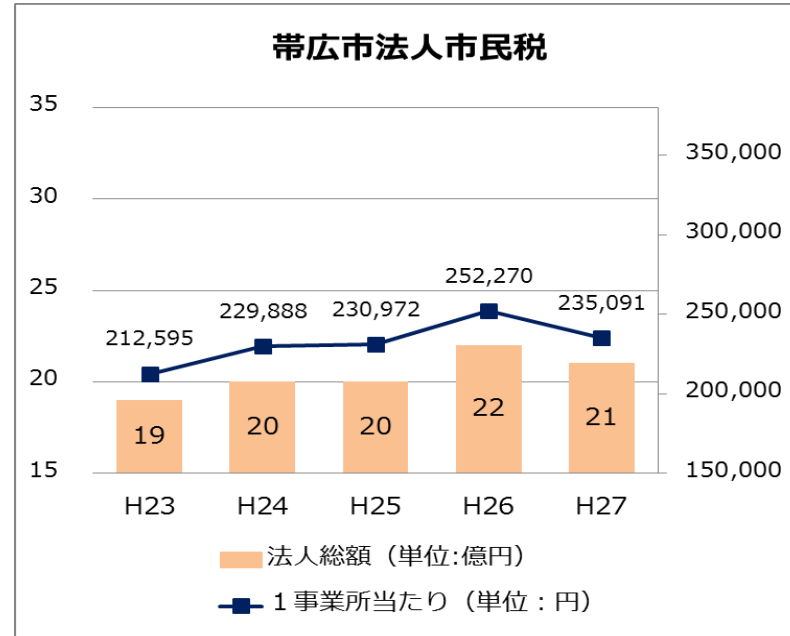
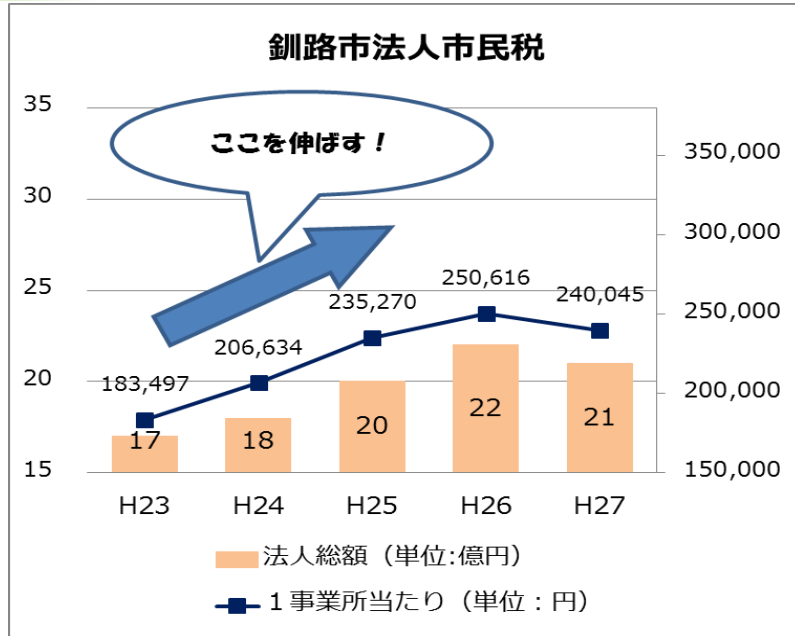


釧路市の台所事情

釧路市の歳入に占める市税の割合は、人口規模が同程度の道内他都市と比べ低い状況にあり、国の政策による地方交付税の動向に影響を受けやすく、安定した市政運営のためには、将来を見通した中で重点的な施策を展開し、産業の振興と雇用の創出を図ることが重要となります。

歳入に占める市税・地方交付税の割合（平成27年度決算）



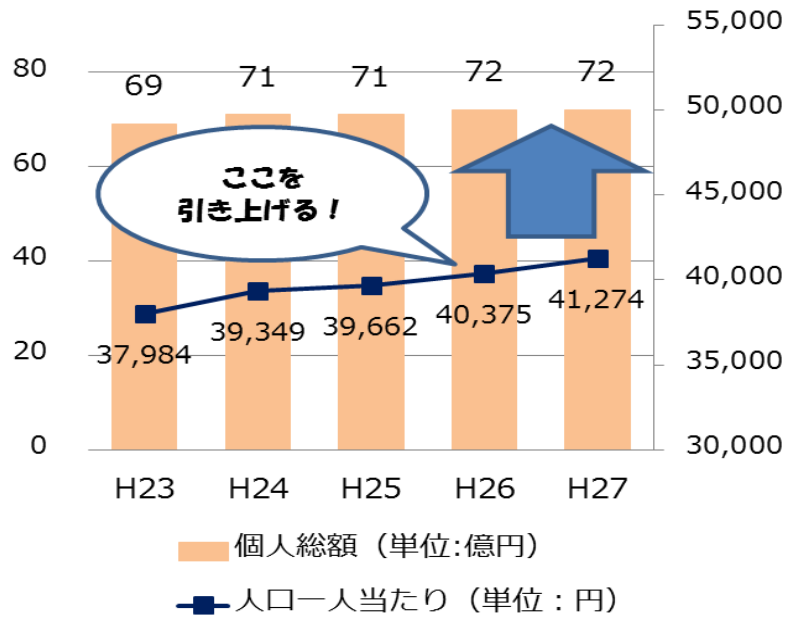


釧路市と帯広市の法人市民税を比べると...

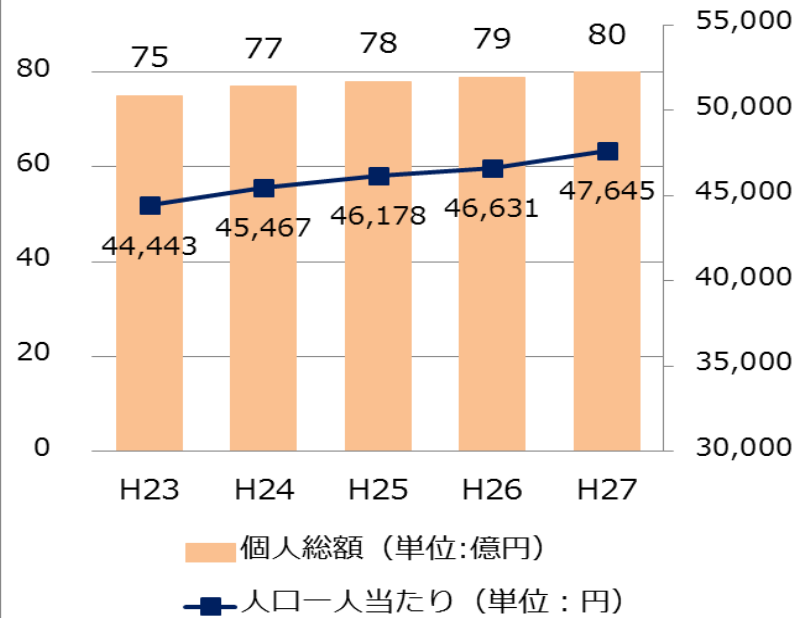
- ◆ 法人市民税の総額も、1事業所当たりの税額も、大きくは変わらない。
- ◆ しかし、平成23年度以降の伸び率は、釧路市のほうが大きい。
(平成27年度に減少しているのは、税制改正があったため)

1事業所当たりの税額を伸ばすことができれば、法人市民税総額も伸ばすことができるし、釧路市にはその可能性もある！

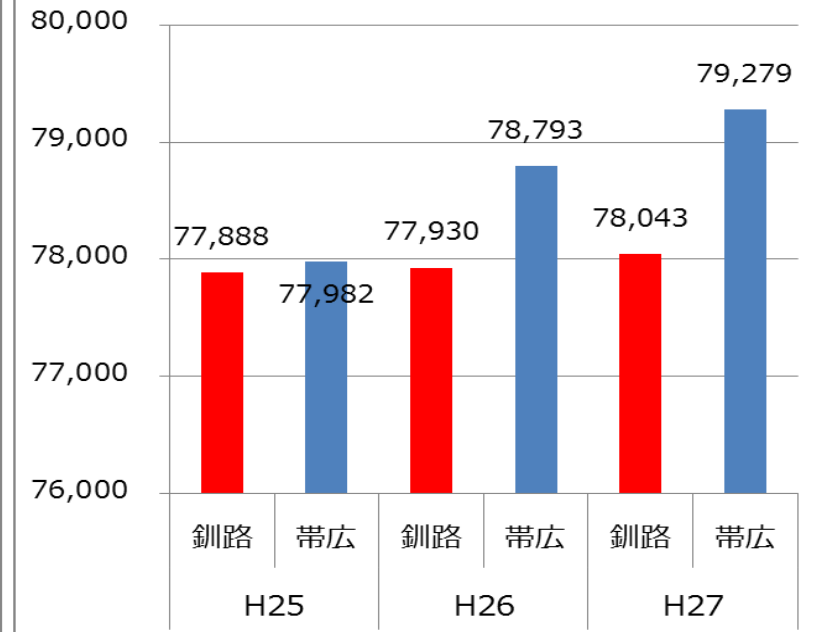
釧路市個人市民税



帯広市個人市民税



納税義務者数 (単位:人)

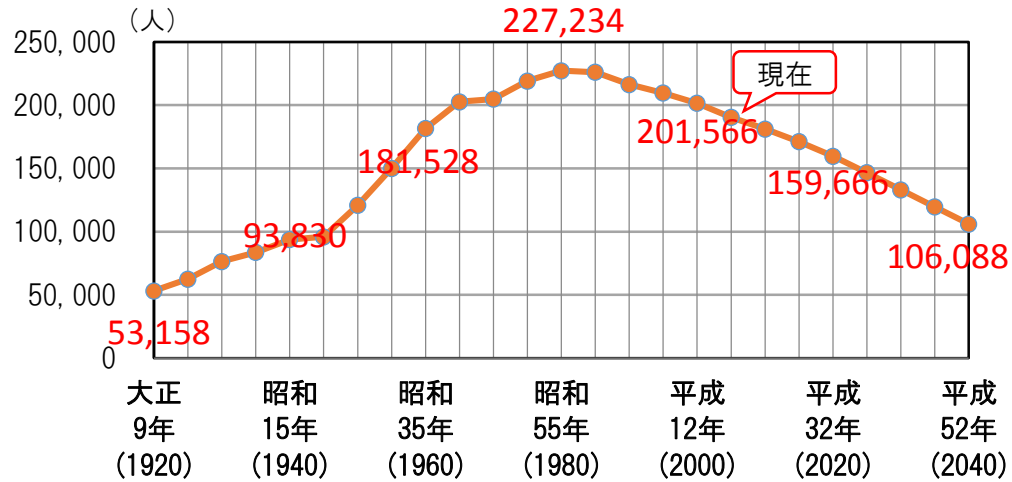


釧路市と帯広市の個人市民税を比べると…

- ◆個人市民税の総額も、人口一人当たりの税額も、釧路市のほうが少ない。
- ◆平成25年度～平成27年度は、人口は釧路市のほうが多いのに、納税義務者数は帯広市のほうが多い。
- ◆納税義務者一人あたりの税額も帯広市のほうが多い。(H27:釧路市 92,663円、帯広市:101,289円)

人口一人当たりの税額を引き上げるためには、雇用の創出などにより人口減少を食い止めて納税義務者数を増やすこと、地域を活性化させて稼ぐ力を高めることが大きなカギになる！

【総人口の推移と将来推計】



人口の減少

■ 将来推計人口

181千人 (H22 2010年)

↓

106千人 (H52 2040年)

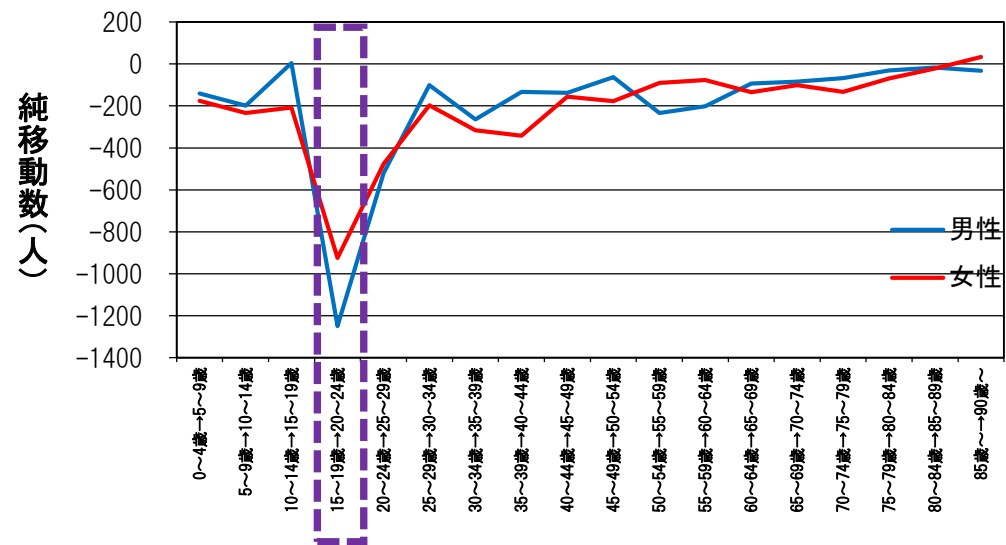
【H17年→H22年の年齢階級別人口移動】

若者世代の転出超過

15～19歳の世代が、20～24歳になる時に、大きく転出超過となっています。

(男) 1,249人減

(女) 925人減



雇用を生み出す産業の強化

経営革新・新規創業促進に向けた産業支援体制の充実

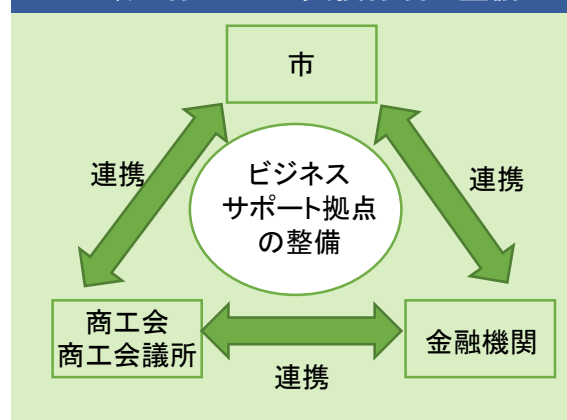
○産業支援体制の整備（新）7,500千円

- ・地元企業の経営課題を解決するため、金融機関や支援機関との連携のもと、専門的能力を持った産業支援体制を整備します。

○中小企業・小規模事業者に対する伴走型サポートの実施 574,257千円

- ・事業者の自立的・自主的な努力を前提に、段階に応じたきめ細かな支援を行います。

地域一体となった支援体制の整備



「外から稼ぐ」販路開拓の支援

○金融機関と連携した販路開拓支援（拡）1,222千円

- ・金融機関と連携し、商談会への参加などの販路開拓を支援します。

○民間事業者と連携した販路開拓支援 6,427千円

- ・「楽天市場」やイトーヨーカドー等の民間事業者のノウハウを活用するなど連携しながら地場産品の振興を図ります。



商談会の様子

経済波及効果を高める「域内循環」の促進

○地域材利活用の推進 2,420千円

- ・くしろカラマツを活用した木製品の開発や商品のPR、林業・木材産業の担い手確保、機械化施業の推進に取り組みます。



くしろカラマツとエゾ鹿皮を活用した椅子

○産業連関表の活用促進 900千円

- ・地域の産業構造を把握し、経済波及効果を高める施策を展開するため、産業連関表の活用に関する研修等を行います。

産業を支える基盤整備

○重要港湾釧路港の整備 1,492,100千円※一部H28補正

- ・国際バルクターミナル整備事業を含んだ「国直轄港湾工事」として、島防波堤や新西防波堤などの整備を促進します。

○道東道の利用・整備の促進 2,534千円

- ・道東道を利用した道内観光客の誘致と阿寒～釧路間の早期整備を促進します。

重要港湾 釧路港



雇用を生み出す産業の強化

女性・若者の就職や創業、U I J ターンの促進

○女性の雇用対策と創業支援 7,842千円

- ・子育てにより職場を離れた女性等を対象とした再就職支援講座や合同企業説明会、中間的就労体験等による就職の支援のほか、女性の視点による創業を促進するセミナー等を開催します。

○若年者等の雇用対策 7,857千円

- ・ビジネスマナーをはじめとした基礎研修のほか、職場見学等を行い若年未就労者の就職を支援するとともに、建設業の魅力向上、資格取得を支援するなど、人手不足業種への就職を促します。

○U I J ターンの促進、人材の確保・定着促進 6,046千円

- ・大学生等を対象とした企業説明会や相談会などを通じ、釧路市で働く優秀な人材を確保します。



女性の創業支援講座



若者の建設系資格取得の支援

介護分野の人材育成・雇用の創出

○介護人材確保のための事業者への支援 17,790千円

- ・不足する介護分野の人材を確保するため、未経験者の雇用や介護技術の重点指導、資格取得の促進に取り組むなど、新たな介護人材を育成する事業者を支援します。

○介護分野での人材復職支援 661千円

- ・介護分野の復職・再就職を支援するため、介護施設の見学会や就労体験を通じ継続した雇用につなげる取組を行う事業者を支援します。



職場実習

子どもを生み育てたいという希望をかなえる

子ども・子育て支援事業計画関連事業（拡） 31,231千円

子どもの健やかな育ちと子育てを支えます

【障がい児保育の拡大】

- ・ 障がい児保育 11園→12園

【ゼロ歳児保育の拡大】

- ・ 9人分拡大

【病後児保育の確保】

- ・ 釧路共栄保育園にて受け入れ

【健診おたすけプラン】

- ・ 子育て世帯の健診受診時の託児

【子育て世帯応援リフレッシュ事業】

- ・ 育児負担を軽減するための一時預かり

子育て支援の様子



妊娠・子育ての負担軽減 76,981千円

妊婦健診助成の増額と
3歳未満の医療費自己負担の無料化を継続します

【妊婦健診の初回健診時助成費用の増額】

- ・ 初回健診時助成費用 6,000円 → 12,000円へ増額

【乳幼児等医療費助成の拡大】

- ・ 3歳未満の医療費自己負担を無料化

幼稚園利用者の負担軽減（新） 12,555千円

認定こども園・施設型給付を受ける幼稚園利用者の
負担を軽減します

【幼稚園利用者の負担軽減】

- ・ 保育所や私学助成を受ける幼稚園が認定こども園へ移行する際に増える保育料の利用者負担額の軽減
- ・ 私学助成を受ける幼稚園が新制度の幼稚園へ移行する際に増える保育料の利用者負担額の軽減

保育利用に係る多子世帯への配慮

8,807千円 ※保育料収入減を含む

たくさんの子どもを持てるよう
経済的支援を実施します

【国による保育料負担軽減策（多子世帯における 第1子目の年齢制限を引上げ）の年収制限を緩和】

- ・ 国の年収制限360万円 → 420万円に引き上げ
- ・ 第2子（保育料半額）の対象者の拡大
- ・ 第3子（保育料無料）の対象者の拡大
- ・ 第3子からの保育所入所への配慮

「世界一級の観光地」を目指して

国のプロジェクトに選定された強みを活かし、平成32年に向け外国人来訪者の増加を目指した観光戦略を展開します

【目標】	1 訪日外国人延べ宿泊客数	102,978人 → 272,754人	2 外国人旅行者旅行消費額	25,000円/人 → 27,000円/人
	3 外国人旅行者来訪者満足度(大変満足)	20% → 22%	4 外国人旅行者リピーター率	20% → 22%

観光立国ショーケース ～訪日外国人受入のモデル都市～

市と連携しDMO（観光地域づくりのかじ取りを担う法人）が策定する、マーケティングに基づいた観光戦略により、アジア圏や欧米豪のみならず世界各国の旅行者から選ばれ続ける観光地となるよう、平成28年度からの5か年計画にてさまざまな取り組みを進めます。

観光庁選定: 釧路市・金沢市・長崎市

1. 日本版DMOの確立

DMO候補法人と行政などが連携し、観光地域づくりの舵取り役としての体制づくりを行うとともに、マーケットリサーチに基づいた観光地域づくり戦略などを策定し、各種施策の実施を通じて世界水準のDMOを目指します。

3. ストレスフリーの環境整備

2次交通などの交通ネットワークの構築、中心市街地や阿寒湖温泉地区エリアでのWi-Fi導入、段差解消、メニューや交通標識の多言語化、トイレの洋式化、免税制度の導入、クレジットカード端末の導入を進め、ストレスフリーな環境を構築し、外国人の受入体制を強化します。



国立公園満喫プロジェクト ～世界を魅了するナショナルパーク～

「阿寒国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム2020」により、阿寒国立公園の自然や温泉、アイヌの伝統文化など、本来の姿のままの自然や文化を体感いただける魅力ある国立公園づくりを進めます。

環境省選定: 阿寒・十和田八幡平・日光・伊勢志摩
大山隠岐・阿蘇くじゅう・霧島錦江湾・慶良間諸島

2. 観光資源の磨き上げ

DMOが策定するブランディング戦略に基づき、自然やアイヌ文化、さらには食文化など、地域ならではの観光資源をレベルアップさせ、プレミアムな滞在プログラムを開発・提供して外国人旅行者の満足度を高めます。

4: 海外への情報発信

DMOが策定するプロモーション戦略に基づき、旅行者のニーズにあわせWEB等を活用した観光情報の発信と、各種プロモーション活動などを実施し、外国人をはじめとする旅行者の誘致を進めます。

世界一級の観光地づくりに向けた具体的取組

1. 日本版DMOの確立 54,379千円

【主な取組】

- ・ 専門人材の確保によるDMO組織の体制強化
- ・ マーケティングに基づいたブランディング・プロモーション戦略の策定
- ・ 戦略に基づいたブランド構築とプロモーションの実施



3. ストレスフリーの環境整備 60,877千円

【主な取組】

- ・ 釧路市街地ストレスフリーエリア構築に向けたWi-Fi等の環境整備
- ・ ストレスフリーエリア内における民間施設的环境整備支援
- ・ 周遊、滞在をサポートする釧路駅観光案内所のリニューアル
- ・ 快適な移動を促す釧路空港、阿寒湖温泉間のバス運行の実証実験



2. 観光資源の磨き上げ 80,284千円

【主な取組】

- ・ 世界一級のリゾート地を目指した滞在観光地づくり
- ・ アイヌ文化のトータルブランド化へ向けた取組の推進
- ・ 地域ならではの食や食文化などの磨き上げ



4. 海外への情報発信 16,412千円

【主な取組】

- ・ 欧米豪富裕層が好むアドベンチャーツーリズムへのアプローチ
- ・ 戦略に基づくアジア圏向けプロモーションの実施
- ・ WEBやSNSを活用した効果的なプロモーションの実施



釧路市 I R (統合型リゾート) のイメージ

(施設外観)



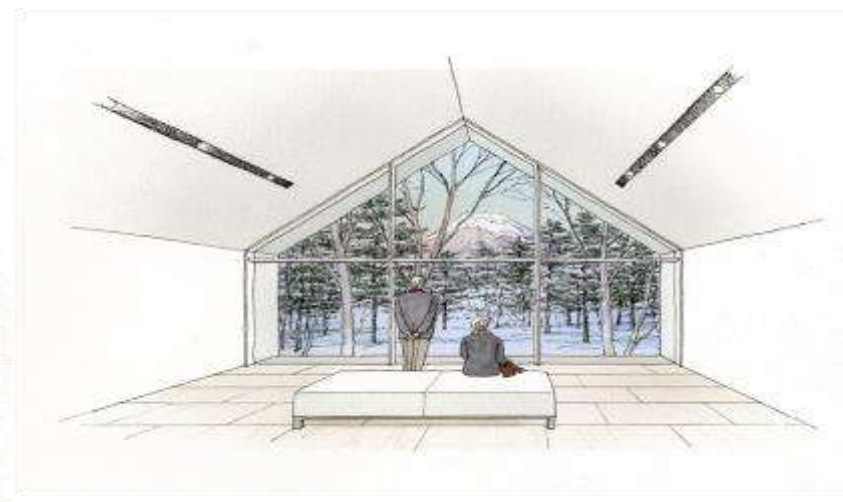
(エントランス棟)



(カジノホール)



(レストラン・バー)



(展望・待合ラウンジ)



(アート回廊)

阿寒湖アイヌ施策の推進

近年、阿寒湖温泉地区のアイヌ文化については、後継者の不足等もあってその継承が課題となっています。

一方、阿寒湖温泉地区においては、国の観光立国ショーケースや国立公園満喫プロジェクトの指定を受けるなど観光面の追い風が吹いています。

阿寒湖温泉地区の伝統あるアイヌ文化の国際的なブランド化を進めることで、自立した継承と阿寒湖温泉地区の観光産業の活性化を図ります。



世界最古級の
アイヌ民族の木綿衣(ルウンペ)

阿寒湖アイヌ施策の推進（新）

○阿寒湖アイヌ施策推進に向けた調査

5,338千円

- ・阿寒湖温泉地区におけるアイヌ伝統文化の国際的ブランド化に関する戦略づくりに取組みます。

戦略づくり

- ・阿寒湖アイヌ施策の整理
- ・地域課題、地域価値の洗い出し
- ・担い手づくりの方向性
- ・先進事例の調査 等

○民芸品開発の支援 710千円

- ・阿寒湖温泉地区を中心とした民芸品づくりを支援します。



支援する民芸品のイメージ

○阿寒湖アイヌ施策の推進体制

- ・阿寒湖アイヌ施策推進室の設置（2名体制）
- ・庁内横断的な連絡体制の構築

○アイヌ語を使った

接客マニュアルの作成 3,000千円

- ・阿寒湖温泉地区における、異空間体験を創出するための、ホテルやお店などでのアイヌ語を使った「阿寒湖温泉らしい」接客方法の構築と実践を支援します。

イランカラフテ=こんにちわ
イヤイライケレ=ありがとう
イクアンロー=乾杯

安心な暮らしをつくる

町内会と連携した避難支援（新） 1,260千円

町内会と連携し、災害時に避難支援が必要な人を助ける仕組みをつくります

【避難行動要支援者の避難支援】

- ・ 避難行動要支援者の避難支援団体となった単位町内会、地区連合町内会への活動費用に対する補助
- ・ 避難行動要支援者の避難支援個別計画書を作成した町内会への費用補助
- ・ 対象町内会は津波高が3m、5mの浸水区域

【被災者支援システムの導入】

- ・ 避難行動要支援者の把握と情報管理
- ・ 罹災証明書の発行及び管理

子どもたちの安全・安心の確保 669千円

子どもたちを地域で見守る意識の醸成や、防災意識を高める取組を進めます

【地域見守り安全マップの作成】

- ・ 小学校における通学路の安全マップの作成

【防災教育の推進】

- ・ 地震・津波等の自然災害に関する体験的な学習の推進

防災・減災の主なハード整備

510,138千円 ※一部H28補正

災害時の迅速な避難体制の整備、大雨等による浸水対策を進めます

【緊急避難用道路等の整備】

- ・ 新釧路川左岸通の工事着手
- ・ 柳橋通の4車線化（一部H28補正）

【大雨等による浸水対策】

- ・ 星が浦川河川改修に係る用地取得、改修工事

【移動系防災行政無線のデジタル化】

- ・ IP無線機（デジタルトランシーバー）の導入

【消防車両の購入】

- ・ 水槽付消防ポンプ自動車2台の更新
- ・ 高規格救急自動車1台の更新

水槽付消防ポンプ自動車



高規格救急自動車



人口減少に対応した地域をつくる

コンパクトなまちづくりの推進等 2,674千円

「歩いて暮らせる便利で持続可能なコンパクトシティ・くしろ」の
実現に向けた取組を進めます

【立地適正化計画の改訂に向けた検討】

- ・ 居住誘導区域の設定を中心とした計画改訂を検討

地域公共交通の再編 6,120千円

誰もが利用しやすく、まちづくりと連携した
持続可能な公共交通を実現します

【地域公共交通網形成計画の成案化】

【地域公共交通再編実施計画の策定に向けた基礎調査】

釧路駅周辺整備の推進 12,873千円

防災の視点を含めた
都心部まちづくりの
検討を進めます

【都心部まちづくりの検討】



北大通地区における優良建築物の整備 388,995千円

まちなか居住人口の増加による
中心市街地の活性化を図ります

【民間事業者による再開発事業への支援】

- ・ 北大通3・4丁目で進められる民間再開発事業を支援



人口減少に対応した地域をつくる

公有資産マネジメントの推進（拡）

95,236千円

公共施設の集約化、多機能化を進めるなど、
更新・維持管理のコスト削減を図ります

【公共施設の複合化】

- ・ 緑ヶ岡・貝塚地区の複合公共施設建設工事に着手
- ・ 松浦地区、大楽毛地区における公共施設複合化の協議を推進

【公有資産マネジメントの推進】

- ・ 「釧路市公共施設等総合管理計画」等に基づく公共施設の集約化・多機能化、除却の検討

定住自立圏構想の推進（拡） 3,448千円

近隣自治体との連携により、
安心して暮らし続けられる圏域形成を推進します

【協定に基づく近隣自治体との連携】

【東京23区交流推進員の配置】

空家等対策の推進（拡） 1,999千円

不良空家等の解体費に対する補助金の創設など、
空家等に関する対策を推進します

【空家等の適正な維持管理についての啓発】

【空家等の適正管理に向けた相談体制の充実】

【不良空家等の解体費に対する補助の新設】

- ・ 補助率：対象経費の1/3（上限30万円）

空家等の対策に関する協定



上水道・下水道の整備（拡） 4,220,993千円

より安全で信頼性の高い水道システムを目指して
上水道・下水道の整備を進めます

【上水道の整備】

- ・ 愛国浄水場の土木・建築工事
- ・ 老朽管の更新、配水管布設、消火栓整備等

【下水道の整備】

- ・ 浜町ポンプ場自家発電設備の更新、耐震補強工事等
- ・ 古川処理場沈砂ポンプ動力設備更新等



将来を見通したまちづくり

釧路市まちづくり基本構想等の策定 5,475千円

○釧路市まちづくり基本構想の策定

これからの新たなまちづくりの指針をつくります

- ・ 市民委員会の開催 ・ シンポジウムの開催
- ・ 計画期間 平成30年度～

目指すべきまちづくり

- ・ 市民が安全に安心して生きがいを持って健康で暮らし続けるため、地域の経済を伸ばし、まちの活力を高めていくこと
- ・ 地域への愛着や誇りを高めて釧路の魅力や価値を次世代に継承すること
- ・ これらのまちづくりを進め、ひがし北海道の拠点都市としてさらなる飛躍を目指すこと

5つのまちづくり基本方針

- 未来を担うこどもを育てるまちづくり
- すべてのひとが活躍できるまちづくり
- 地域の経済と産業が雇用を支えるまちづくり
- 誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり
- 自然と都市とが調和した持続可能なまちづくり

○釧路市強靱化計画の策定

大規模自然災害から市民の生命・財産を守り社会経済基盤を維持するための施策を進める指針をつくります

- ・ 有識者懇談会の開催
- ・ 計画期間 平成30年度～

※ 国土強靱化地域計画として策定

